

第17回 DAAS運営委員会

□日 時：2011年5月20日（金） 午前10時～12時00分

□場 所：星陵会館 3階3A会議室

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-16-2

TEL 03(3581)5650

□議 案：

[検討事項]

議案1 UIA2011 東京大会並びに第6期以降の活動についての検討 <資料 1>

[報告事項]

○表彰作品収蔵事業報告 <資料 2>

○卒業設計大賞報告 <資料 3>

配付資料

<資料 1> DAASの『UIA2011 東京大会』での活動並びに第6期活動展開について

<資料 2> 表彰作品資料収蔵事業についての報告

<資料 3> デジタル卒業設計大賞懇親会報告

<参考資料> DAAS NOW これまでの活動と今後

第5期（2010-2011年度）事業計画 業務方針（第16回運営委員会提出資料）

## DAAS の『UIA2011 東京大会』での活動並びに第 6 期活動展開について

### ■ UIA における活動目的について

当初『DAAS』の周知を図る意味で、広報活動に軸足を置き、URL の表示ならびに広報映像の投影、PC 設置による操作体験などを考えていた。しかし、3.11 東日本大震災を踏まえた、東京大会の新たなテーマにも応えられるような展示活動に修正する方針とした。

### ■ 第 6 期にむけての DAAS コンテンツの方向

DAAS は、今秋に第 5 期を終了する。アーカイブとしての資料収蔵の一定規模を確立させることと、Web を使った検索システムなどの仕組みも整ったと考えている。そこで、第 6 期以降の活動の方向性を見極め、次へ展開させる必要がある。

### ■ Web サイト上での活動として将来性のある活用の仕方を模索する。

これまでに収蔵、制作してきた『保全』対象の画像、動画コンテンツから、『活用』を目的としたコンテンツ、閲覧者や利用者が『投稿可能』なウェブサイトのある方を考えていきたい。

これまでに収蔵をしてきた、写真家、設計者、雑誌社、企業等々が著作権を保有する『保全すべき資料』『DAAS の Web サイトでのみ公開可能』とするコンテンツとは切り分けをし、第 6 期以降は『参加型』『公開型』コンテンツ他のサイトとの『引用』『連携』が可能となるコンテンツ、アップロード作業の即応性を高めたコンテンツを制作する方向への展開を考える。

### ■ 今後の方針を見据えた上での UIA2011 東京大会における活動展示（案）

すでに収蔵された写真資料等に加え、震災エリアの取材映像を元に「景観」の今昔や今後どのように立て直すのかをその場で議論（対談形式）し、その様子をその場で Web 上にアップする、という作業工程を見せながら、聴衆や大

会参加者の持参しているツール（パソコン、iPad、iPhone など）において Web 観戦、参加できるイベントを開催したい。展示ブースとしては、ラジオのサテライトスタジオ的な雰囲気想定している。震災後の取材映像やコンテンツは今後も増え続けると思われるが、DAAS が、このような歴史的な重要性をもつ情報を公開するプラットフォームになることも志向している。可能であれば震災前の画像や映像も収蔵に加え、対比させながら DAAS の主旨である景観や都市デザインの考察に役立つ資料の集積としていきたい。現在 UIA 東京大会の DAAS の活動展示については、東京国際フォーラムガラスホール棟 B1F のロビーギャラリー部分で行う予定である。（9/28 全日）スクリーン映写+数十脚のイス席のシンポジウム等の会場として使用できる様を依頼しているところである。

■ 『景観』取材映像について

場所情報を伴った声、写真、動画、絵（スケッチ）などが考えられる。情報の形式にとらわれず、多様なコンテンツが Web 上で閲覧できる様、Web サイトの改修に必要な内容、デザインを検討し実装する。必要であれば DAAS コンテンツの閲覧のための他の媒体でのアプリなどのインタラクティブな手法を作成し、若い世代への浸透や国際的な展開を考える。

<資料 2>

2011年5月20日

DAAS 事務局

表彰作品資料収蔵事業についての報告

<収蔵数報告>

- 2010年～2011年3月迄の表彰作品収蔵対象件数 約1200作品
- 収蔵依頼数(電話連絡、資料送付) 200社/800作品
- 受領資料数 (110社/440作品)約2,350枚

※2011年5月20日現在、引続き設計者からの写真提供、写真家との調整があるため、デジタル化作業を継続しております。そのため資料数は概算です。ご了承下さい。

<収蔵内容について>

- 建築5団体以外の表彰作品で設計事務所より希望のあった作品も対象とした。
- JIA-KITアーカイヴスが収蔵する図面、街並み資料を収蔵。(相田武文氏、川崎清氏受賞作品の図面。高橋志保彦氏表彰受賞の都市計画資料)
- DIK設計室、集工舎の表彰作品の図面資料を追加収蔵。
- 設計者からの写真受領以外に、エスエス社、日本建築写真家協会に表彰作品の該当資料の有無を確認し、各写真家から資料の提供を受けた。

<今後の作業日程>

- 写真資料返却 2011年5月末完了予定
- デジタルデータの最終納品 2010年6月上旬完了予定
- 関係者へのtestページ送付 2010年5月中旬～6月予定
- 新規WEBサイトでの公開作業 2010年6月中旬完了予定

<資料 3>

2011年5月20日

DAAS 事務局

### デジタル卒業設計大賞懇親会報告

デジタル卒業設計大賞 2010 は、2010 年春までに大学を卒業、大学院を修了した人を対象に昨年秋に募集を行いました。今回は 10 作品の応募（内海外在住の方からの応募が 2 名）があり、その中から以下の 4 作品を今回の受賞者として選出いたしました。

また、3月31日に審査委員長である古谷誠章先生ご同席のもと懇親会を開催し、賞の授与を行いました。受賞者の中よりさらに1名を古谷賞として選出し副賞を授与いたしました。

会場の都合上、一般に公開はいたしませんでしたが、懇親会の様子は後日 DAAS ウェブ「デジタル卒業設計大賞 2010 懇親会」として動画をウェブサイトに掲載いたします。

会 場： 早稲田大学理工学部

日 時： 2010年3月31日（木） 15:00 から

審査員： 古谷誠章氏 （DAAS 理事・建築家・早稲田大学教授）

入賞者： 百田智美 「HAJIKI」  
京都造形芸術大学通信教育部建築デザインコース卒業  
<http://momoda-tomomi.6.ql.bz/index.html>

竹内吉彦 「張りぼてと対」  
東京理科大学理工学部建築学科小嶋一浩研究室  
<http://take-hiko.tumblr.com/>

阿部真理子 「<オデッサ>空間・都市・素材」  
ロンドン・メトロポリタン大学 建築学部 MA Unit10 卒業  
<http://marrikoabe.tumblr.com/>

福地佑介 「再生するジャンクション」  
千葉大学工学部建築学科栗生明研究室  
[http://issuu.com/yusuke\\_fukuchi/docs/diploma](http://issuu.com/yusuke_fukuchi/docs/diploma)

作 者 名 : 百田智美

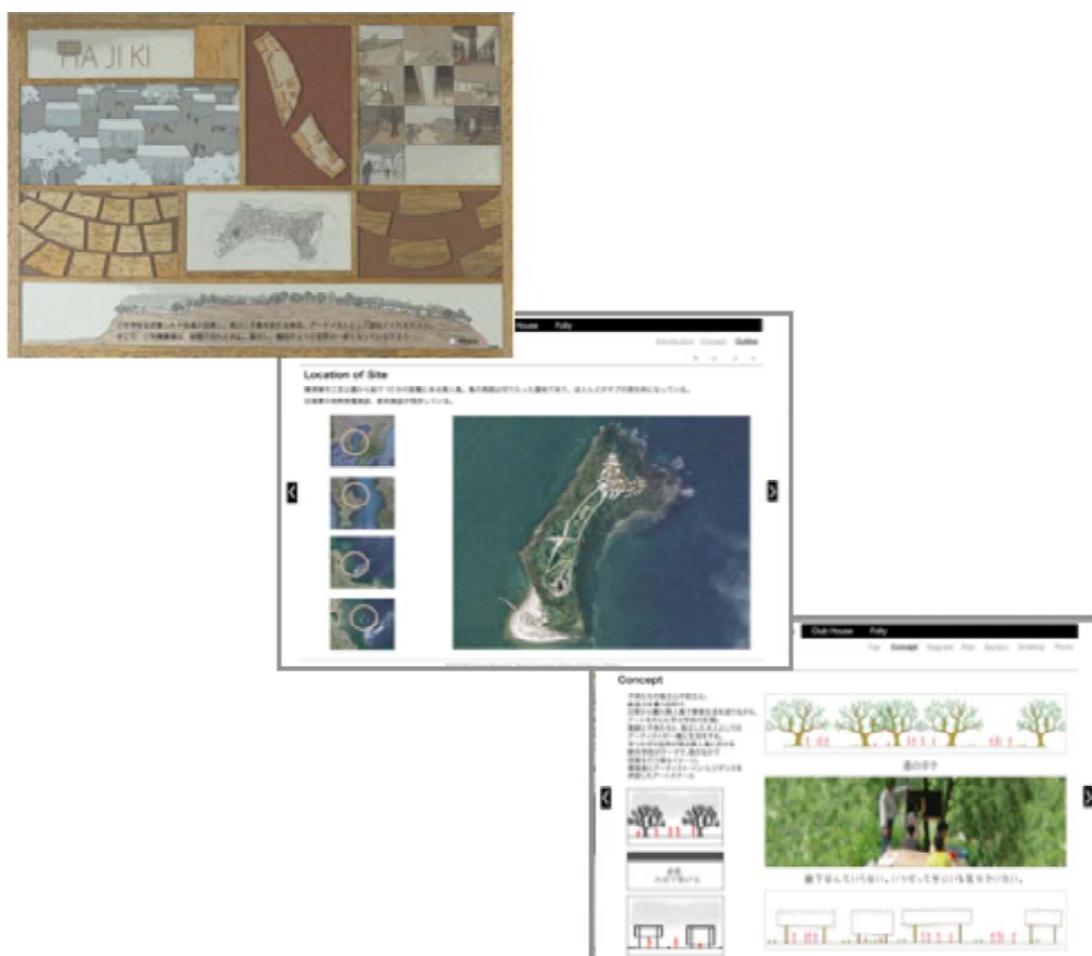
作 品 題 名 : HAJIKI

U R L : <http://momoda-tomomi.6.q1.bz/index.html>

出 身 大 学 : 京都造形芸術大学通信教育部芸術学部デザイン科建築デザインコース

卒 業 年 : 2010年

作 品 概 要 : 子供たちの独立心や自立心、創造力を養う目的で、日常から離れ、無人島での寄宿生活を送りながら、アート中心に学ぶ学校を東京湾の無人島に提案。手つかずの島の自然環境と建築、人との関わり方を探求した。教師と子供たちと、独立した大人としてのアーティストと一緒に生活する、野外学校がテーマで、森の中で、授業を行う様なイメージ。寄宿舍とアーティスト・イン・レジデンスを併設したアートスクールと子供たちのエスケープゾーンとしての小さな図書館を持つフォリー、卒業生や一般の人々が利用出来るクラブハウスの三つのゾーンで、構成される。基本となる形態は等高線をプロットし、必要なボリュームを立ち上げた。その形態の小さな単位の組み合わせで、三つの異なる機能の建築に展開した。



DAAS審査評 : 三部作シリーズの作品群の中では、全体を統合したコンセプト、表現の方法、建築の造形などが秀でている。東京湾に浮かぶ無人島に臨海学校としての子供のための施設をもうける提案。3つのプログラムには独自の生成手法が用いられているが、それが連結、統合される中で島の全体を網羅する有機的な建築郡となっている。

作 者 名 : 竹内吉彦

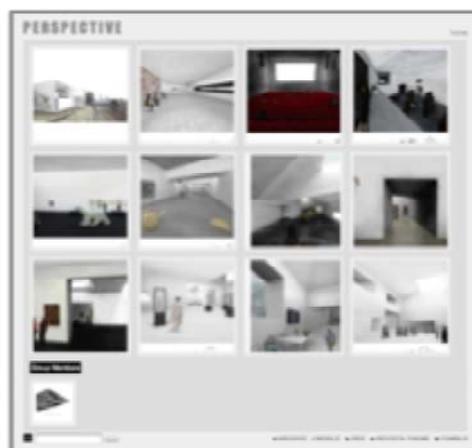
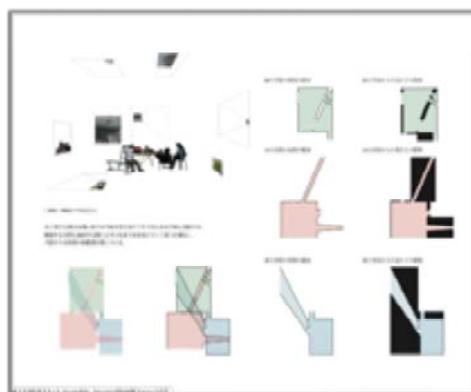
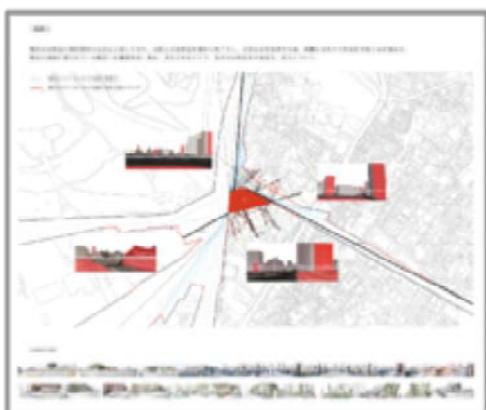
作 品 題 名 : 張りぼてと対

U R L : <http://take-hiko.tumblr.com/>

出 身 大 学 : 東京理科大学理工学部建築学科小嶋一浩研究室

卒 業 年 : 2010年

作 品 概 要 : 「建築」張りぼては仮定の壁厚をつくり、その中に対の空間を予期させる。都市の隙間に隠れた距離感を拾い集め、内部に混在させることによって奥を消失し、都市の喧騒を隔てながらも都市とのつながりを持ち続けるアートセンターを設計する。[デジタル化による表現手法]メディアが多様化した現在に、この作品がなるべく多くの人々の目に触れられ、関係性をつくっていくことを考え、tumblrという、ブログとミニブログ、そしてソーシャルブックマークを統合したウェブスクラップサービスを組み合わせることでwebページを構築した。ここではTwitterのように他のユーザからフォローされたり、リブログという他人が投稿したポストを自分のページへ再投稿して反映させる機能を活かして、この作品がどれほど他者からの共感を得られるかを観察していくことができる。



DAAS審査評 : 建築に向き合う姿勢は素朴であるが、その取り組みへの執念を強く感じる。ウェブで表現するという手法をたくみに使い、扉を一つ一つ開きながら作者の造形世界へ誘うという古典的な表現を美しく実現している。

作 者 名 : 阿部真理子

作 品 題 名 : <オデッサ> 空間・都市・素材

U R L : <http://marrikoabe.tumblr.com/>

出 身 大 学 : ロンドン・メトロポリタン大学 建築学部 MA Unit10

卒 業 年 : 2010年

作 品 概 要 : 建築のかたちを追求するのではなく、起きていること、空間の雰囲気を目を向ける。そのプロセスの中で徹底して“手”を使い、ドローイング/模型自体のもつ質感、スタディの課程で起きるアクシデント等を、設計する空間と重ね続けて行く。ハンドドローイングのワークショップ“Spatial Atmosphere”、アーバニスタディ“Walking and urban practice”、コンクリートキャスト“Material Matters”という前半の3つのワークショップを経て、メインのプロジェクトへ向かう。敷地はウクライナの第二都市、オデッサ。19世紀の都市計画によるグリッドと、その背後に存在する多様な中庭空間からなる美しい基盤に、人々は寄生するように生活している。歴史と現在、公と私とが独特の関係を持って生き続ける寄生都市オデッサにおける、新たな中庭空間を考える。住民によって編集されてゆく、半公共の中庭空間である。



DAAS審査評 : 建築に向き合う姿勢は素朴であるが、その取り組みへの執念を強く感じる。ウェブで表現するという手法をたくみに用い、扉を一つ一つ開きながら作者の造形世界へ誘うという古典的な表現を美しく実現している。

作 者 名 : 福地佑介

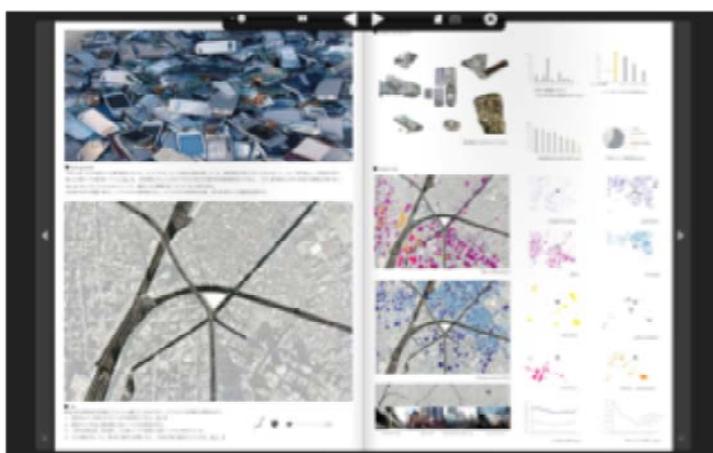
作 品 題 名 : 再生するジャンクション

U R L : [http://issuu.com/yusuke\\_fukuchi/docs/diploma](http://issuu.com/yusuke_fukuchi/docs/diploma)

出 身 大 学 : 千葉大学工学部建築学科栗生明研究室

卒 業 年 : 2010年

作 品 概 要 : 年間2100万台が廃棄される携帯電話には貴重な資源である、無数のレアメタルが存在し、それらは「都市鉱山」と呼ばれる資源の末路であるが、資源の再生は一向に進まない。そこで都市鉱山を集積し、再生し、再び都市に流通させるためのリサイクル施設兼、回収拠点兼、広報媒体としての建築をエンドユーザーが多いとされる高密都市池袋に提案する。3面を異なるインフラに囲まれ、清掃工場が隣接し、周辺と分断された敷地において、「ジャンクション」を挿入することにより、土地の高度化を計ると共に、インフラを利用した効率的な物流、再生の体系を作る。そして両者が共存することにより、再生に関する、多様なスピード感と圧倒的なマスのストックが、都市に、そして人々に浸透していく。やがてレアメタルの再生への啓蒙が進み、都市の各所に再生の輪が整ったとき、レアメタルの壁面は解体され、建築は遊歩道としての機能を残した記念碑的な広場になる。



DAAS審査評 : 高速道路のジャンクションに建築を設定し、場所の意味や形体の現れ方、機能、都市における存在の意義を問うという点では優れた造形感覚を提示しているといえる。ウェブにおける表示のインタフェースは汎用の技術を転用しているので閲覧をする際の高揚感などにはかけるが、ポートフォリオをとしてのデータやり取りを重視するのであれば、大きな障害になるとは考えられないけれど、インターフェースの活用については一考の価値があるのではないか。

DAAS

The archives sharing the architectural space in future and past

LOGIN >>

新規登録 >> | パスワードを忘れた方 >>



# Digital Archives for Architectural Space

DAASが収蔵する建築資料を様々な方法で検索できます

キーワード検索

KEYWORD

竣工年検索

COMPLET ON YEAR

地図検索

MAP

カテゴリー検索

CATEGORY

表彰事業検索

AWARD

詳細検索

FINE SEARCH

## DAAS NOW

DAASのこれまでの活動と今後

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム 2011

# はじめに

DAASコンソーシアムは、消失の危機又は埋もれている**貴重な建築および関連資料**等を、**デジタル技術**によって保全、再生、活用し、日本の優れた建築や街並み等の文化を広く国内外に**インターネットを通じて紹介**することを目的に、2006年12月に発足し、以来、**世界初の総合的な建築・空間のデジタルアーカイブ**として、約4年半活動してきました。

この間、日本の建築界は、改正建築基準法、改正建築士法、瑕疵担保新法などの施行、また、悪化した経済状況への対応などが急務とされ、さらに2011年には東日本大震災がおきるなど、極めて慌ただしい時期が続きました。その中で地道に活動を続け、国交省から引き継いだ60～70年代に撮影された約6,000点の建築写真デジタルデータと、その公開システムであるDAASウェブによる資料の諸元や閲覧機能に対して、更新と改善を行ってきました。また、新規コンテンツの収集・作成活動として、主要な建築表彰の受賞作品に関する資料や、著名建築家のインタビュービデオ等、建築・街並み・景観に関するデータを収集・公開してきました。平成20年度（第2期～第3期）からは、主要団体の表彰作品の資料収集を集中的に行い、**2011年U I A東京大会開催の時期を目標に、高い評価を受けた近現代の日本建築を総覧できるコンテンツを整備することについて、国土交通省、関係団体の支援が得られることとなりました。**他のアーカイブとの連携もすすめ、貴重な図面資料のデジタル化作業を行い、収蔵の幅を広げるなど、これまでの活動は、現会員からの貴重な予算で、効果的にアーカイブを整備し、ウェブ利用増進を図る基盤作りとして活動を継続してきたといえます。

しかしながら、収蔵が望まれる貴重な資料が数多くあることに対し、4年半の活動期間で新たに収蔵できた資料は約5100点にとどまり、過去1年間のウェブ訪問者も7万人に満たないことなど、**まだまだアーカイブとして十分な活動ができている状況とは言えません。**収蔵資料の充実とウェブ利用者の拡大、ひいては**活動への理解・支援の拡大は『にわとりと卵』的な関係にあります。**今後DAASコンソーシアムは当初の目的を果たすため、**現会員の皆様と新しく趣旨にご賛同いただける新会員の皆様のご理解とご協力の下、引き続き国からもご支援を頂き、今後も一層の活動を展開していくこととしております。**皆様には本活動の趣旨にご賛同いただきますよう、改めてご支援を頂きたくお願い申し上げます。

# DAAS設立の背景

- 失われつつある優れた建築資料の保全
  - 褪色が進む1960～70年代のポジフィルム
  - 色再現が困難になってきた1990～2000年代のフィルム
  - 時間の経過と共に散逸する図面やスケッチ資料
- 世界に誇るべき我が国の文化と技術、そしてその責任
  - 我が国を形成する優れた建築・街並み・景観などの文化的資源
  - IT先進国としてのデジタル技術を活用した文化保護の推進に対する責任
    - デジタル化に伴う著作者の権利に対する配慮
    - インターネット時代を反映した有効な活用方法
- なぜデジタルアーカイブなのか？
  - インターネットを通じた情報発信による文化の継承
  - 現物資料のデジタルスキャニング技術によるレプリカ化
  - 劣化した資料のレプリカに対するデジタル技術による補正
  - 現物資料より取り扱い易くなったレプリカのアーカイビングによる保存
- 情報社会を見越した資料提供のあり方と資料活用への挑戦
  - 誰もがインターネットを通じて手軽に情報へアクセス、発信できる社会
  - 検索結果として得られる情報から情報素材として活用
  - 著作者や資料保有者の権利保護と事業趣旨に則った運用方法の面立への挑戦

# デジタルアーカイブの特性

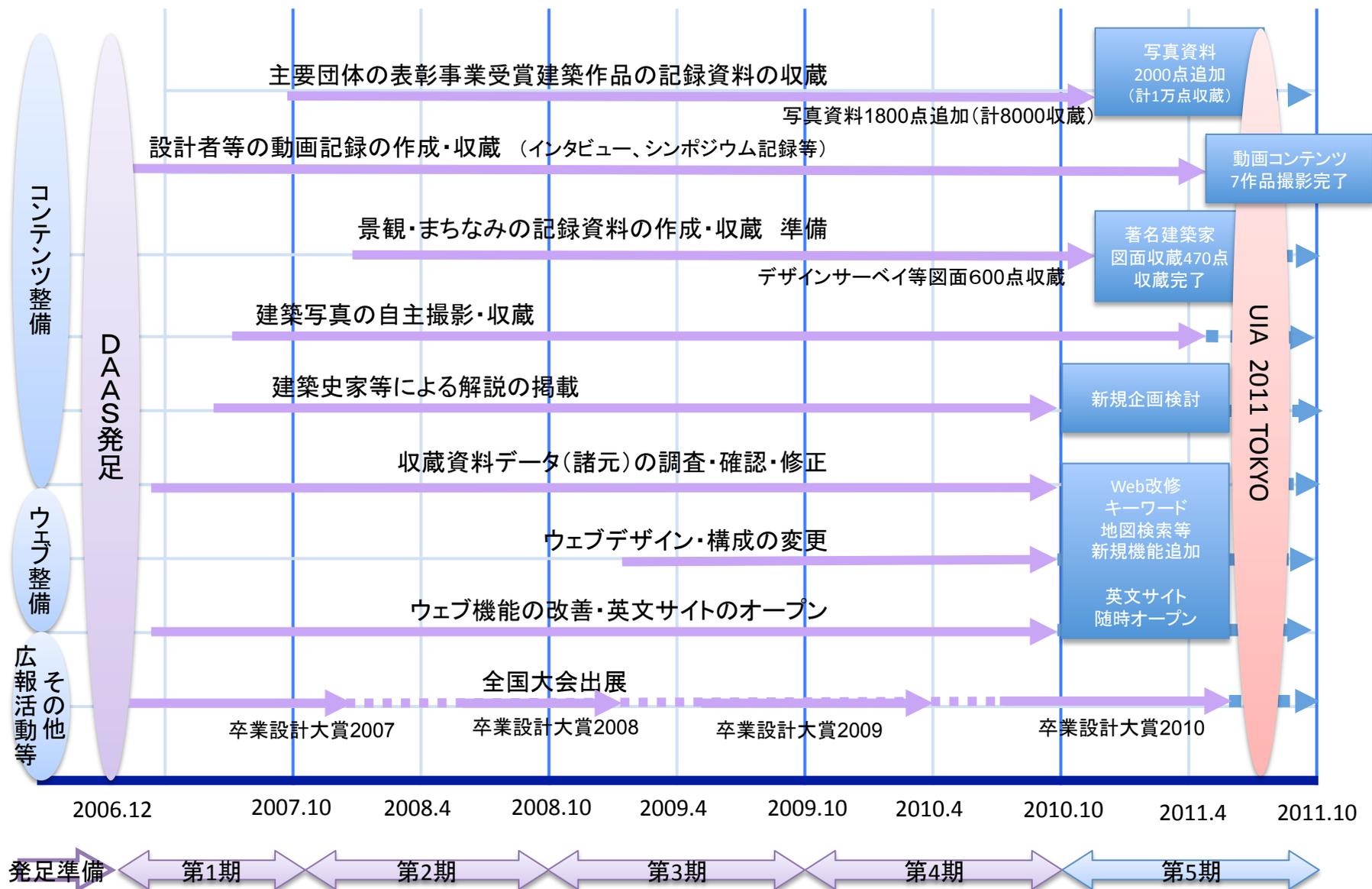
- デジタル化によって
  - 現物資料の不用意な利用を減らせる
    - 利用が制限される資料もレプリカなら利用可能に
    - 物理的な取り扱いに対する注意が軽減可能に
  - 現物資料では実現が難しい表現が可能になる
    - 拡大・縮小、文字の読み取り、注釈などの追記 etc…
- アーカイブ化によって
  - 総覧性や検索性能を高められる
    - 現物資料のインデックスだけではなく参照可能なレプリカが存在により、内容に対するアクセスを一元化
- デジタルアーカイブ化によって
  - 埋もれていた貴重な資料に新たな息吹が与えられる
  - デッドストックがライブストックに!

# DAASの使命

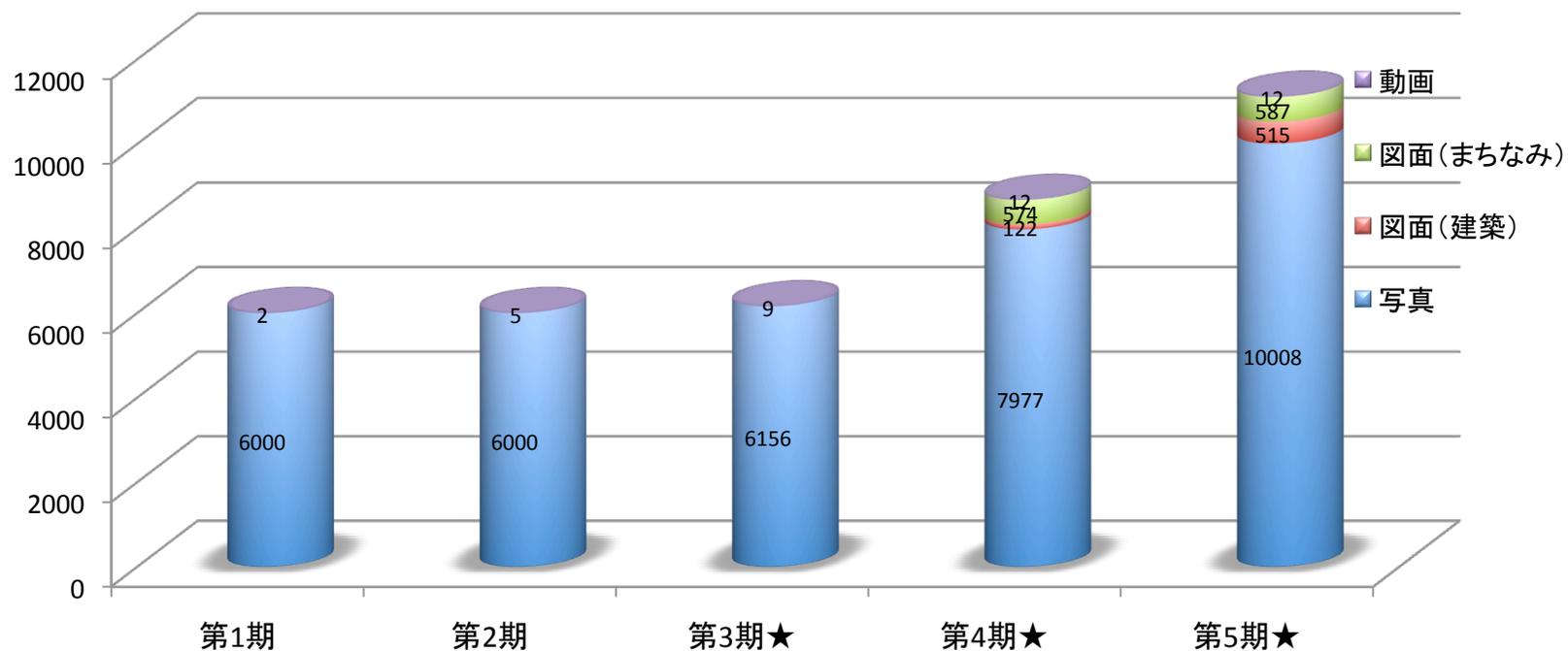
- アーカイブスとして
  - 建築・景観・街並みに関するあらゆる資料を収集・蓄積
    - 社会から評価を受けた建築・景観・街並みに関する資料を対象
    - 組織や資料の内容を超えたオープンな「収蔵庫」として、資料収集と蓄積を行う
  - 現物の物理保存とデジタル情報のレプリカ保存の両立
    - 物理保存は「場所」「風化」など物理的制約や影響を色濃く受ける
    - レプリカ保存は再現可能な情報のみで構成され物理的制約を受けにくい
    - 金沢工業大学建築アーカイブス研究所との協業による現物保存に対するサービス提供
- アライアンスセンターとして
  - 建築アーカイブが内包している問題を解決
    - 保護から活用への転換
    - 国内の建築アーカイブの多くは資料の積極的な活用を行わない
      - 大学、設計事務所・ゼネコンなどが運営母体となり「保護」を目的とする
      - 管理コストのかかる公開はほとんど行われない
      - 物理的にその場へ行かなければ資料内容を確認することができない
    - 情報として公開・発信されず限られた人しか知らない「デッドストック」に
      - 資料の存在が明らかにされない
      - 経緯や内容を把握している人がおらず資料整理すらできない
    - デジタル技術によって現物資料の保護と情報の活用の両立が可能に
  - オープンなアーカイブ・アライアンスを目指す
    - 国内の建築・景観街並みを網羅し様々な糸口によって体系化された知の構築

## これまでの主な活動と今後の活動予定

第1期(2006年12月)～第5期(2011年9月)



これまでの資料収蔵数の推移  
第1期(2006年12月)～第5期前期(2011年4月)



収蔵数推移と内訳	写真		図面		動画	
	作品数	写真数	作品数	図面数		
第1期(設立当時)	1229	6000			2	写真:新建築社
第2期('07～'08年)					3	
第3期('08～'09年)	15	156			4	写真:表彰作品
第4期('09～'10年)	324	1821	32	696	3	写真:表彰作品 図面:JIA-KITアーカイヴ収蔵品および池原氏資料
第5期('10～'11年)	491	2031	10	406		写真:表彰作品 図面:JIA-KITアーカイヴ、DIK設計室、集工舎図面
合計	2059	10008	42	1102	12	

# これまでの活動

## 第1期(2006.12-2007.9)

2006年12月の設立総会によるDAAS発足後、事務運営体制の整備、ウェブの機能更新（キュレーター機能の追加）等を行うとともに、2007年5月には、菊竹清訓氏を招き、DAAS収蔵写真を高精細の大スクリーンで上映しつつ作品解説を行うワークショップを開催した（記録は動画でウェブに掲載）。また、次世代に不可欠なIT技術を有する若手設計者育成と、DAAS活動の大学教育機関への周知等を目的として、「デジタル卒業設計大賞2007」を隈研吾氏（DAAS理事）を審査員に公募。

## 第2期(2007.10-2008.9)

ウェブの検索機能の改善等を進めるとともに、収蔵された60年代、70年代の建築物の現況や清家清氏設計の住宅を除却前に撮影するなど新規コンテンツの収録、建築史家等による収蔵記録の解説等の掲載、収蔵作品の諸元データの確認、修正作業等を進めた。また、後半期においては、国の補助事業として会員団体と協力し、主要な表彰事業の受賞作品のリスト化等の作業を進めた。「デジタル卒業設計大賞2008」を六角鬼丈氏（DAAS理事）を審査員に公募。

# これまでの活動

## 第3期(2008.10-2009.9)

第2期に引き続き国の補助事業を活用して、会員団体の主要な表彰事業の受賞作品について諸元等のデータの整理を進めるとともに、関連資料を収蔵するための権利関係や技術的な課題把握等を目的に、会員企業（久米設計、日建設計、日本設計、山下設計）の受賞作品の写真（一部図面）をケーススタディとして収集・デジタル化した。また、発足時より目標としていた景観・まちなみに関する資料の収集準備を開始し、住宅団地や歴史的街並みなどのリストを作成。設計者に対するインタビュービデオの作成を進め、池原義郎氏、難波和彦氏、池田武邦氏、内田祥哉氏、古谷誠章氏の撮影を進めた。また、コンテンツの充実を受け、ウェブの構成、デザインの変更を準備。「デジタル卒業設計大賞2009」を難波和彦氏（DAAS理事）を審査員に公募。事務局を文京区（株）新建築社）から千代田区（ベターリビング）に移転。

## これまでの活動

### 第4期(2009.10-2010.9)・第5期前期(2010.10-2011.4)

5団体((社)日本建築学会、(社)日本建築士会連合会、(社)日本建築士事務所協会連合会、(社)日本建築家協会、(社)建築業協会)の主要な表彰事業の受賞作品について、過去から現在までの関連資料を、UIA東京大会の開催時期に公開できるよう収録。物理収録とレプリカ収録を同時に実施するオープン・アーカイブス・アライアンスを設立し、JIA-KITアーカイブスとの協業を開始。更に雑誌社、竣工写真撮影会社、個人写真家等に資料収録の協力を得られたため、図面・写真等の収録資料数は設立時の6,000点と併せて、計11,000点に達した。収録作品の拡大に対応すべく、DAAS-Webサイトの検索機能改修と大幅なデザイン改修を実施。「デジタル卒業設計大賞」は、古谷誠章氏 (DAAS 理事) を審査員に公募。(財)ベターリビングの移転に伴い、事務局委託費用の節減、事業の機動的な実施等を図り千代田区平河町に事務局を移転。

# 今後の活動予定

## 第5期(2011.4-2011.9)

UIA東京大会開催にむけて、これまでの保全型コンテンツから、閲覧者参加型、活用型コンテンツに幅を広げ、景観・街並みに関するコンテンツ制作を開始。今後多様化する情報の形式にも対応できるよう継続したウェブサイトへの改修を行い、必要であれば、アプリ制作も行う。

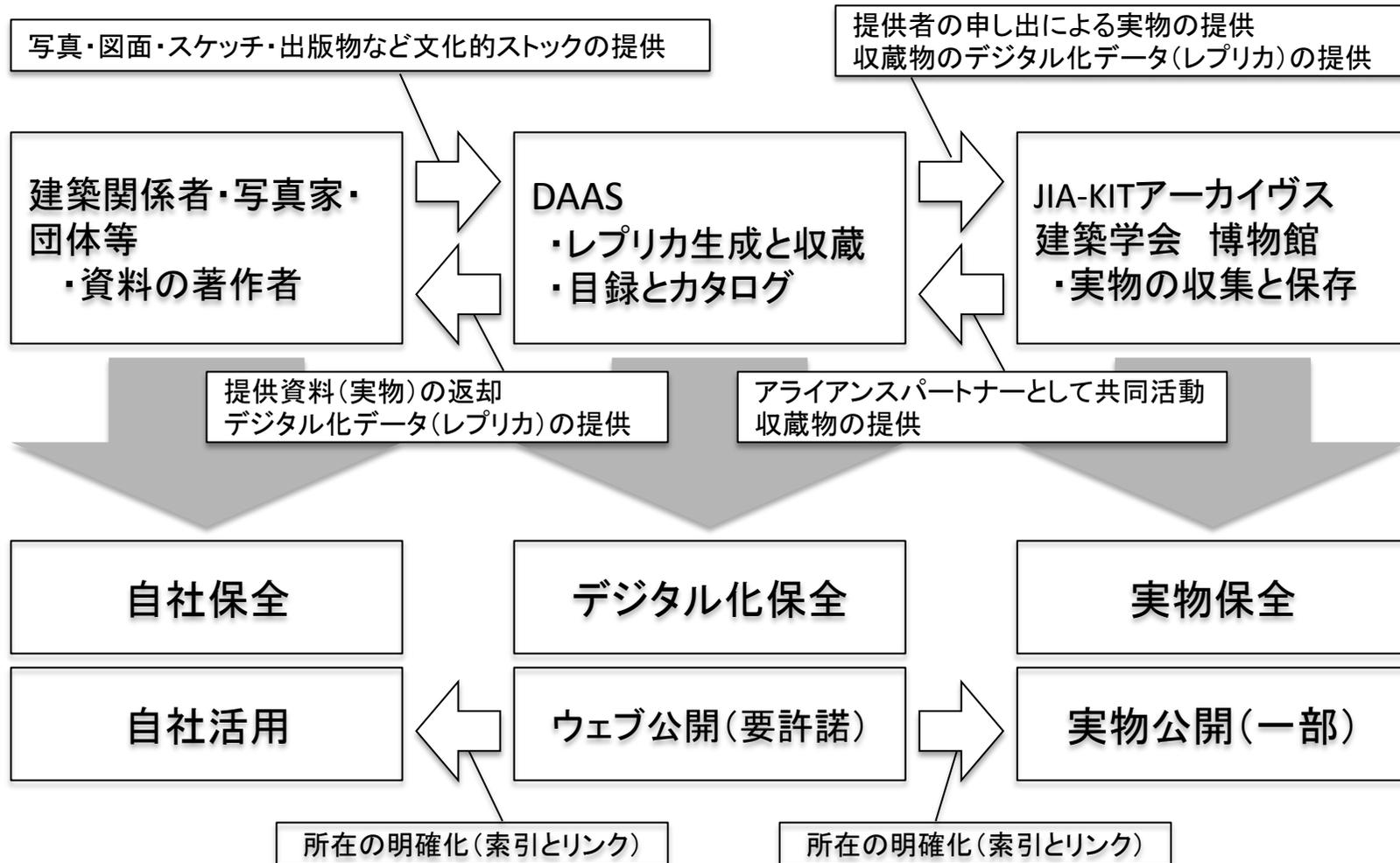
## 5年後 (2014)

会員団体の単位会など、日本各地において評価される建築物や街並み、環境など多様な観点からの優良建築物等について収蔵を拡大。

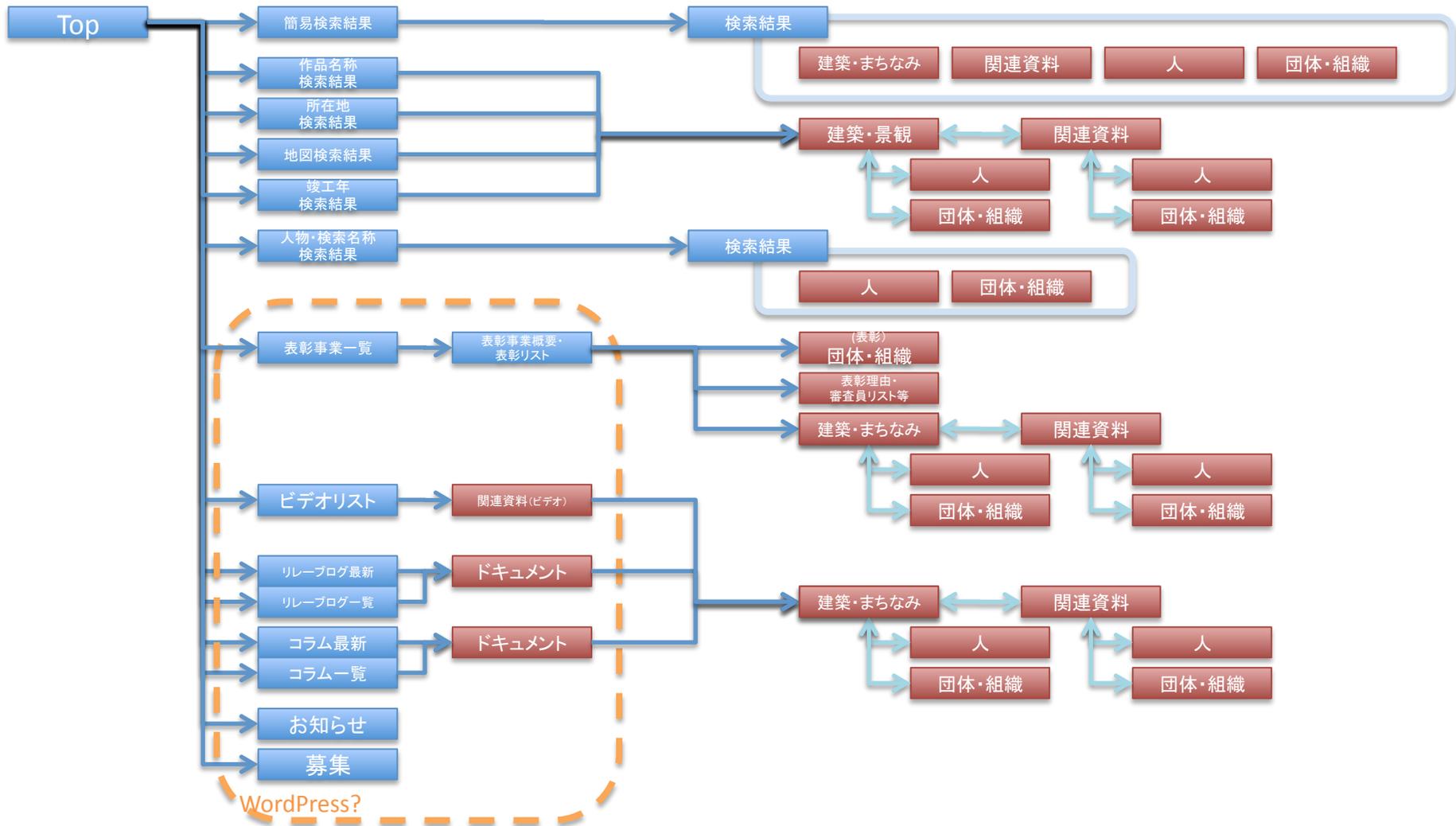
## 10年後 (2019)

日本の優れた建築、街並みを過去から現代まで総覧できるコンテンツの整備と、デジタルアーカイブスとしての世界的な評価を確立。

# DAASの活動：関連団体との位置づけ



# DAASウェブ：構成変更イメージ



# DAASウェブ：画面構成イメージ

The screenshot displays the DAAS website interface. At the top, there is a navigation bar with the DAAS logo on the left and a 'LOGIN >>' button on the right. Below the logo is the tagline 'The archives sharing the architectural space in future and past'. To the right of the tagline are links for '新規登録 >>' and 'パスワードを忘れた方 >>'. Below this is a horizontal menu with six search categories: 'キーワード検索' (KEYWORD), '竣工年検索' (COMPLETION YEAR), '地図検索' (MAP), 'カテゴリ検索' (CATEGORY), '表彰事業検索' (AWARD), and '詳細検索' (FINE SEARCH). Below the menu is a secondary navigation bar with links for '建築資料を探す', '建築資料を利用する', '建築資料を保存・提供する', 'DAASコミュニティ', and 'DAAS関連サイト'. The main content area is divided into two columns. The left column contains a 'HOME >> 建築資料を探す' link, followed by 'お知らせ', '読み物アーカイブス' (with sub-links for 'おでかけダースの建築旅日記', 'けんちくアーカイブ部', and '建築語ログ'), 'ビデオアーカイブス', and 'DAASコミュニティ'. The right column features a section titled '現在公開中の建築資料について' with a paragraph of text, followed by a section titled '建築資料の探し方' with another paragraph of text. At the bottom right, there is a small navigation icon and the text 'あ 連 R'.

DAAS

The archives sharing the architectural space in future and past

LOGIN >>

新規登録 >> | パスワードを忘れた方 >>

キーワード検索  
KEYWORD

竣工年検索  
COMPLETION YEAR

地図検索  
MAP

カテゴリ検索  
CATEGORY

表彰事業検索  
AWARD

詳細検索  
FINE SEARCH

建築資料を探す | 建築資料を利用する | 建築資料を保存・提供する | DAASコミュニティ | DAAS関連サイト

HOME >> 建築資料を探す

お知らせ

読み物アーカイブス

- おでかけダースの建築旅日記
- けんちくアーカイブ部
- 建築語ログ

ビデオアーカイブス

DAASコミュニティ

DAASについて

このサイトについて

ヘルプ

よくあるご質問

お問合せ

## 現在公開中の建築資料について

DAAS Web では、公開当初のコンテンツとして、新建築社より提供された1960～70年代の建築・景観写真の褪色ポジフィルムをスキャンし、修正を行ったものをデジタル画像として公開しています。また2010年6月現在、資料の一部は、一般社団法人住まい・まちづくり担い手支援機構「長期優良住宅等推進環境整備事業に関する資料のデジタル保全業務」（国土交通省補助事業）の一環として実施した成果をまとめたものであり、資料公開にあたっては同団体の協力を得ております。今後とも広く一般に資料の提供をお願いし、収録数を増やしていく予定です。

## 建築資料の探し方

DAASに収録されている建築資料は、トップメニューやメニューバーからキーワードや竣工年、カテゴリ、位置などを使って探すことができます。検索には「キーワード」の他、「竣工年」「地図」「カテゴリ」「表彰事業」「詳細検索」の6通りのやり方があります。

あ 連 R



キーワード検索  
KEYWORD

竣工年検索  
COMPLETION YEAR

地図検索  
AREA

カテゴリ検索  
CATEGORY

表彰事業検索  
AWARD

詳細検索  
FINE SEARCH

Search

キーワード

検索

Option

地域

カテゴリ

竣工年

---

住居施設

1990

- 1990

検索

Results



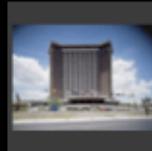
00027994

鹿島建設本社ビル  
東京都港区赤坂  
鹿島建設



00027164

武蔵野美術大学美術資料図書館  
東京都小平市小川町1-736  
大成建設東京支店



00027150

国民宿舎鶴の岬遊泳プール  
茨城県多賀郡十王町伊師浜  
秋山工務店



00027150

大樹寺収蔵庫  
愛知県岡崎市鶴岡町大樹寺境内  
三和建設



00027872

渋谷金属産業東京支店  
東京都練馬区豊玉2-3-11  
清水建設



00027994

雑司の森学園 そよかぜ幼稚園・プレイス...  
京都府綴喜郡田辺町大字大住小学虚空  
竹中工務店



00027164

三和ビル  
熊本県菊池市隈府775  
三和建設



00027150

京都銀行協会銀行会館  
京都府京都市中京区河原町二条下ルーの船入町535の2  
竹中工務店



00027872

武蔵野美術大学美術資料図書館  
東京都小平市小川町1-736  
大成建設東京支店



00027994

鹿島建設本社ビル  
東京都港区赤坂  
鹿島建設



00027164

武蔵野美術大学美術資料図書館  
東京都小平市小川町1-736  
大成建設東京支店

< PREV

1 2 3 4 5 6 7

NEXT >

1980 - 1987

竣工年

1990

- 1990

検索

クリア

1979

1980

1981

1982

1983

1984

1985

1986

1987

1988

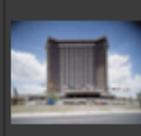
1980



00027994



00027994



00027994



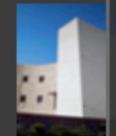
00027994



00027994



00027994



00027994

Information

No. 00027994

Architecture 雑創の森学園 そよかぜ幼稚園・プレースクール

Architects 山田太郎建築設計事務所

Architect 山田太郎

Constructor 竹中工務店

Site 京都府綴喜郡田辺町大字大住小字虚空

Condition 現存

DETAIL >



キーワード検索  
KEYWORD

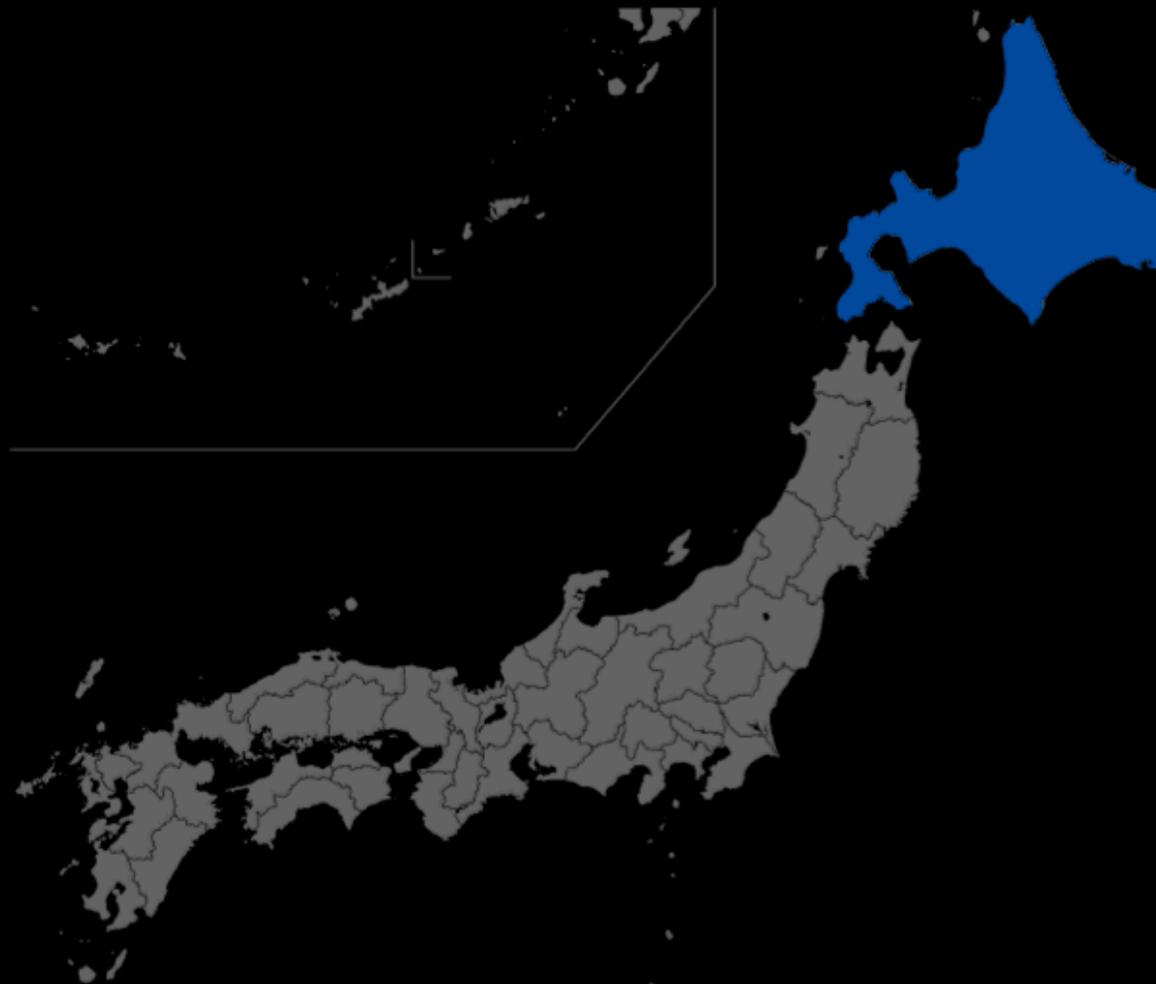
竣工年検索  
COMPLETION YEAR

地図検索  
AREA

カテゴリ検索  
CATEGORY

表彰事業検索  
AWARD

詳細検索  
FINE SEARCH



東京都

- 00027994 雑司の森学園 そよかぜ幼稚園・プレスクール
- 00027994 武蔵野美術大学美術資料図書館
- 00027994 国民宿舎鶴の岬遊泳プール
- 00027994 大樹寺収蔵庫
- 00027994 渋谷金属産業東京支店
- 00027994 三和ビル
- 00027994 京都銀行協会銀行会館
- 00027994 鹿島建設本社ビル
- 00027994 雑司の森学園 そよかぜ幼稚園・プレスクール
- 00027994 武蔵野美術大学美術資料図書館
- 00027994 国民宿舎鶴の岬遊泳プール
- 00027994 大樹寺収蔵庫
- 00027994 渋谷金属産業東京支店
- 00027994 三和ビル
- 00027994 京都銀行協会銀行会館



キーワード検索  
KEYWORD

竣工年検索  
COMPLETION YEAR

地図検索  
AREA

カテゴリ検索  
CATEGORY

表彰事業検索  
AWARD

詳細検索  
FINE SEARCH

## 東京都の建物一覧

< LIST



00027994

**鹿島建設本社ビル**  
東京都港区赤坂  
鹿島建設



00027164

**武蔵野美術大学美術資料図書館**  
東京都小平市小川町1-736  
大成建設東京支店



00027150

**国民宿舎鶴の岬遊泳プール**  
茨城県多賀郡十町伊師浜  
秋山工務店



00027150

**大樹寺収蔵庫**  
愛知県岡崎市鴨田町大樹寺  
境内  
三和建設



00027872

**渋谷金属産業東京支店**  
東京都練馬区豊玉2-3-11  
清水建設

Search

団体 | 年 | 表彰事業

住居施設 | 1990 | 住居施設

Option

地域 | カテゴリ | 竣工年

--- | 住居施設 | 1990 - 1990 | 検索

Results

— 表彰団体、または、表彰事業の説明はこの位置に入ります。表彰団体、または、表彰事業の説明はこの位置に入ります。表彰団体、または、表彰事業の説明はこの位置に入ります。



00027994

鹿島建設本社ビル  
東京都港区赤坂  
鹿島建設



00027164

武蔵野美術大学美術資料図書館  
東京都小平市小川町1-736  
大成建設東京支店



00027150

国民宿舎鶴の岬遊泳プール  
茨城県多賀郡十王町伊師浜  
秋山工務店



00027150

大樹寺収蔵庫  
愛知県岡崎市鶴田町大樹寺  
境内  
三和建設



00027872

渋谷金属産業東京支店  
東京都練馬区豊玉2-3-11  
清水建設



00027994

雑割の森学園 そよかぜ幼稚園・プレイス...  
京都府綴喜郡田辺町大字大住小字虚空  
竹中工務店



00027164

三和ビル  
熊本県菊池市隈府775  
三和建設



00027150

京都銀行協会銀行会館  
京都府京都市中京区河原町二条下ル一の船入町535の2  
竹中工務店



00027872

武蔵野美術大学美術資料図書館  
東京都小平市小川町1-736  
大成建設東京支店



00027994

鹿島建設本社ビル  
東京都港区赤坂  
鹿島建設



00027164

武蔵野美術大学美術資料図書館  
東京都小平市小川町1-736  
大成建設東京支店

Search

キーワード

Results



Detail

× CLOSE

建築資料の詳細情報



作品名	別子銅山記念館
設計事務所	日建設計・大阪
設計者	寺本敏則 横川隆一
施工者	住友建設四国支店・別館開発工事
所在地	愛媛県新居浜市角野新田町大山積神社 aichi
建築タイプ/主要用途	記念展示館
構造	鉄筋コンクリート造
地域地区	市街化調整区域
道路幅員 (m)	西: 6.0m (前面道路)
敷地面積 (㎡)	4,178.00
建築面積 (㎡)	946.07
延床面積 (㎡)	1,053.95 ※備考 1階824.54 2階229.41
規模/階数	地上2階
設計期間	1972年8月 ~ 1974年4月

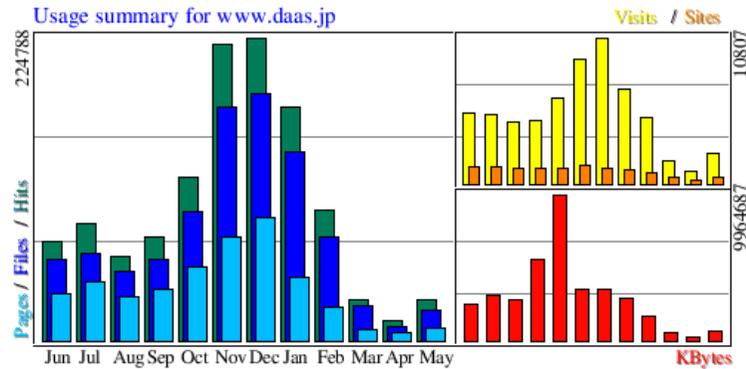
田町大樹寺  
銀行会館  
京区河原町  
入町535の2

< PREV

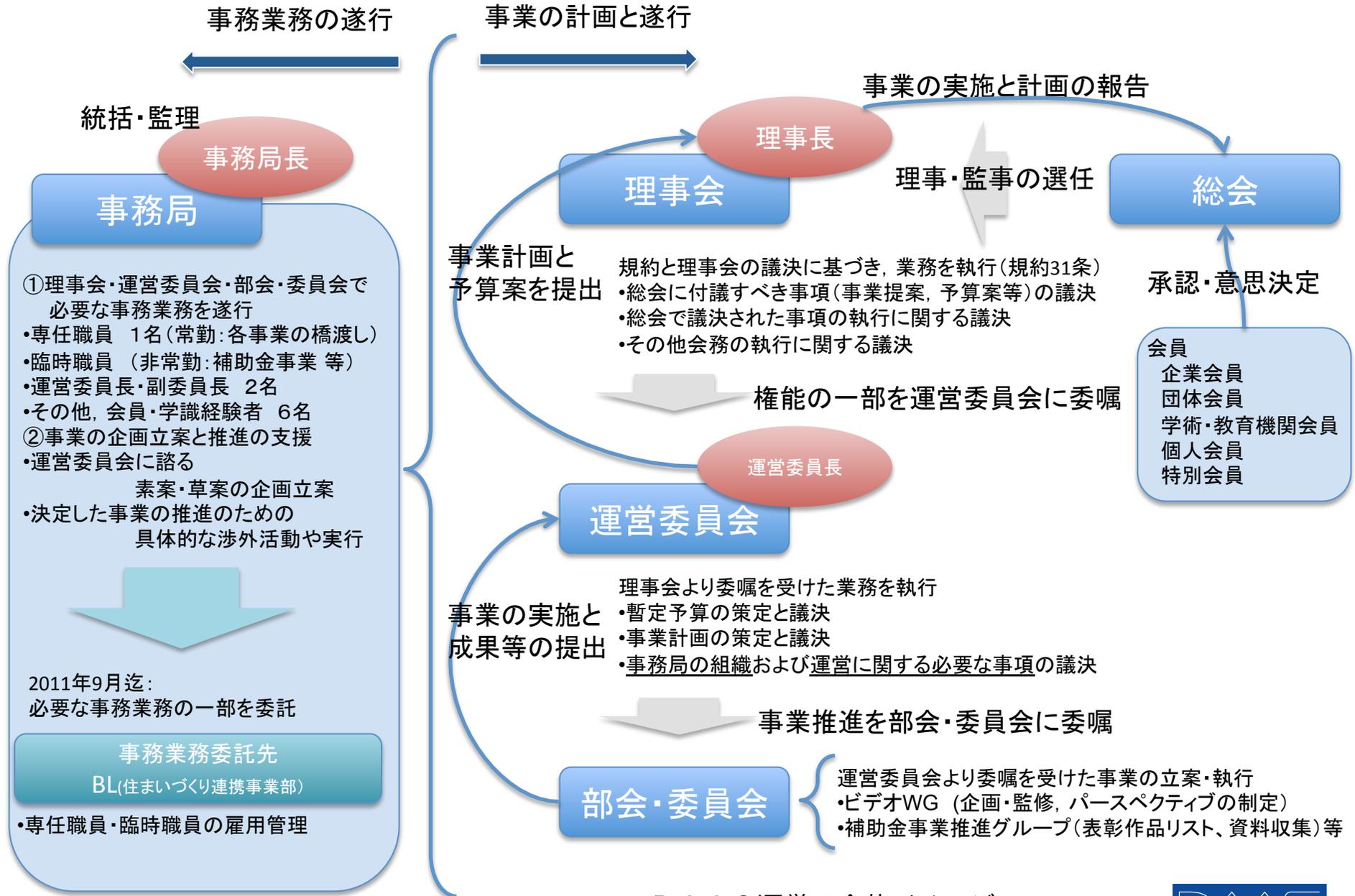
1 2 3 4 5 6 7

NEXT >

# DAASウェブ：アクセストレンド



Summary by Month										
Month	Daily Avg				Monthly Totals					
	Hits	Files	Pages	Visits	Sites	KBytes	Visits	Pages	Files	Hits
<a href="#">May 2011</a>	1690	1231	551	123	543	631403	2231	9931	22175	30430
<a href="#">Apr 2011</a>	2556	1666	924	152	327	260061	913	5544	10001	15338
<a href="#">Mar 2011</a>	2338	1960	604	134	474	586313	1746	7864	25480	30397
<a href="#">Feb 2011</a>	3468	2759	878	176	807	1691114	4949	24601	77255	97116
<a href="#">Jan 2011</a>	5590	4519	1513	225	1017	2887843	6992	46933	140091	173293
<a href="#">Dec 2010</a>	7251	5925	2940	348	1148	3472660	10807	91150	183693	224788
<a href="#">Nov 2010</a>	7324	5761	2548	307	1383	3502078	9212	76445	172837	219747
<a href="#">Oct 2010</a>	3911	3072	1752	205	1200	9964687	6357	54337	95253	121244
<a href="#">Sep 2010</a>	2559	2022	1270	154	1133	5528254	4644	38123	60688	76781
<a href="#">Aug 2010</a>	2019	1669	1061	148	1177	2765850	4595	32895	51765	62589
<a href="#">Jul 2010</a>	2802	2080	1393	167	1304	3074716	5182	43206	64483	86873
<a href="#">Jun 2010</a>	2442	2015	1153	174	1221	2465318	5226	34600	60479	73276
<b>Totals</b>						<b>36830297</b>	<b>62854</b>	<b>465629</b>	<b>964200</b>	<b>1211872</b>



建築・空間デジタルアーカイブス(DAAS)コンソーシアム会員

(順不同 敬称略)

※個人・団体・企業会員を含む

槇 文彦(建築家)  
隈 研吾(建築家)  
六角 鬼文(建築家)  
難波 和彦(建築家)  
古谷 誠章(建築家)  
社団法人 日本建築学会  
社団法人 日本建築士会連合会  
社団法人 日本建築士事務所協会連合会  
社団法人 日本建築家協会  
社団法人 日本建設業連合会  
社団法人 住宅生産団体連合会  
財団法人 日本建築センター  
株式会社 新建築社  
五洋建設株式会社  
株式会社 奥村組  
株式会社 日本設計  
株式会社 熊谷組  
興和不動産株式会社  
前田建設工業株式会社  
清水建設株式会社  
積水ハウス株式会社  
大成建設株式会社  
株式会社 竹中工務店  
株式会社 日建設計  
株式会社 大林組  
鹿島建設株式会社  
住友不動産株式会社

三菱地所株式会社  
株式会社 山下設計  
三井不動産株式会社  
東京建物株式会社  
慶應義塾大学  
株式会社 連合設計社市谷建築事務所  
株式会社 建築資料研究社  
大和ハウス工業株式会社  
社団法人 日本建築構造技術者協会  
財団法人 建築技術教育普及センター  
社団法人 建築設備技術者協会

建築・空間デジタルアーカイブス(DAAS)運営委員

■ 団体会員(選出必須会員)

社団法人 日本建築学会  
社団法人 日本建築士会連合会  
社団法人 日本建築士事務所協会連合会  
社団法人 日本建築家協会  
社団法人 日本建設業連合会  
社団法人 住宅生産団体連合  
財団法人 日本建築センター  
財団法人 建築技術教育普及センター

■ 学術・教育機関会員

慶應義塾大学

■ 企業会員

【出版】

株式会社 新建築社

【総合建設】

株式会社 熊谷組

【設計】

株式会社 日本設計  
株式会社 日建設計  
株式会社 山下設計

【不動産】

興和不動産株式会社

【住宅】

積水ハウス株式会社

## 第5期（2010-2011年度）事業計画 業務方針

基本方針

- 「UIA2011 TOKYO」開催の9月迄に、計1万点以上の資料を保有するデジタルアーカイブとなる。
- 新システム、新デザインに対応した英語サイトをオープンし、海外の閲覧者数の拡大を図る。
- 「管理のし易さ」を目的としたWeb管理機能拡張を集中して行う。

事業計画 業務方針

- 収蔵事業（コンテンツ整備事業）
  - 表彰事業
    - ◇ 2000点の資料収蔵の達成と第4期までの収蔵作品のデータ修正や追加収蔵を行う。
  - 街並み資料
    - ◇ Web掲載方法の検討。
    - ◇ オープンアライアンスパートナーが保有している資料のデジタル収蔵を継続して進める。
  - その他コンテンツ制作
    - ◇ UIA開催時の広報用コンテンツ制作を行う。
    - ◇ 第4期WGで検討したビデオ企画の実現、動画収録。
    - ◇ 収蔵済資料の関連コンテンツ制作
  
- 広報事業
  - UIA本大会会場での広報活動、展示企画の立案と実施
  - デジタル卒業設計大賞の実施
  
- コンソーシアム運営
  - Webサイトの保守・運営・管理、サーバ、ディスク更新についての検討
    - ◇ 短期計画(第6期～第8期)機器更新費用の確保（現状維持、最小限の更新のみを目的とする。）
    - ◇ 長期計画(第8期～)サーバの設置場所を含めた管理方法、費用検討を行い、方針を示す。
  - 一般社団法人格取得準備
  - 基本システムの運用
    - ◇ 「管理のしやすさ」を目標としたシステム改修、管理機能の拡張を行う。
  - 来期予算、事務局体制の検討
    - ◇ 会員の会費等規約についての見直し案を検討する。
    - ◇ 会費収入の減額による事務局体制案を検討する。